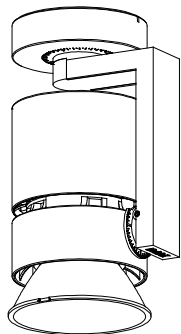


姿図

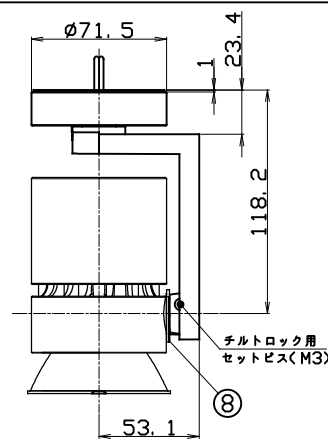
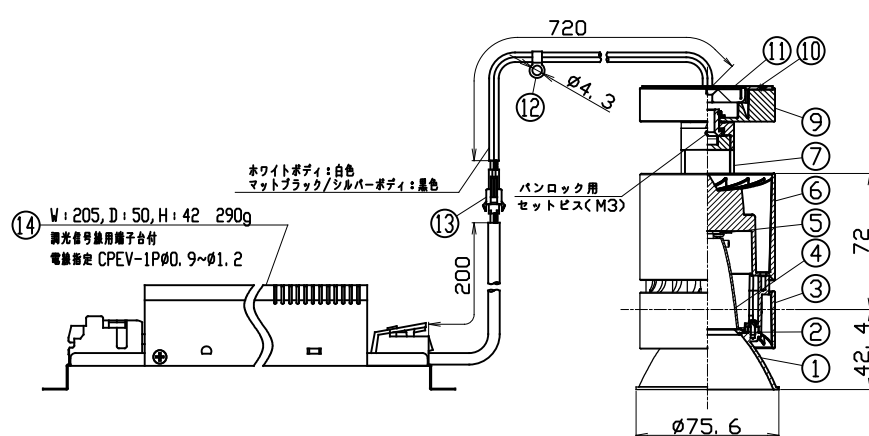


仕様

- 光源 LEDモジュール（装着済）
- 配光 ミディアム（M）
- ボディ ホワイト（W）、マットブラック（M）、シルバー（S）
- コーン ホワイトコーン（FW）、マットブラックコーン（FM）、クロムコーン（FC）
- 首振角度 上10度 下90度
- 回転角度 380度
- 入力電圧 PWM制御方式（P1）
- 調光方式 100V±6%, 200V±6%, 242V±6%（専用ドライバー入力）
- 入力電流 0.304A（専用ドライバー100V入力時）
0.156A（専用ドライバー200V入力時）
0.135A（専用ドライバー242V入力時）
- 消費電力 30.4W（専用ドライバーを含む、100V入力時）
30.2W（専用ドライバーを含む、200V入力時）
30.5W（専用ドライバーを含む、242V入力時）
※消費電力はJIS C 8105-3の試験測定方法による
- 器具入力電圧 36.8V
- 器具入力電流 0.7A
- 調光入力電流 2mA
- 専用ドライバー 定電流型（50/60Hz共用）
- 質量 970g（専用ドライバー込み）
- パン、チルトロック用工具付属

製品コード

- MMP-080S/FW/W/MC/M/20B27/P1/1
MMP-080S/FW/W/MC/M/20B30/P1/1
MMP-080S/FW/W/MC/M/20B35/P1/1
MMP-080S/FW/W/MC/M/20B40/P1/1
- MMP-080S/FM/M/MC/M/20B27/P1/1
MMP-080S/FM/M/MC/M/20B30/P1/1
MMP-080S/FM/M/MC/M/20B35/P1/1
MMP-080S/FM/M/MC/M/20B40/P1/1
- MMP-080S/FC/S/MC/M/20B27/P1/1
MMP-080S/FC/S/MC/M/20B30/P1/1
MMP-080S/FC/S/MC/M/20B35/P1/1
MMP-080S/FC/S/MC/M/20B40/P1/1

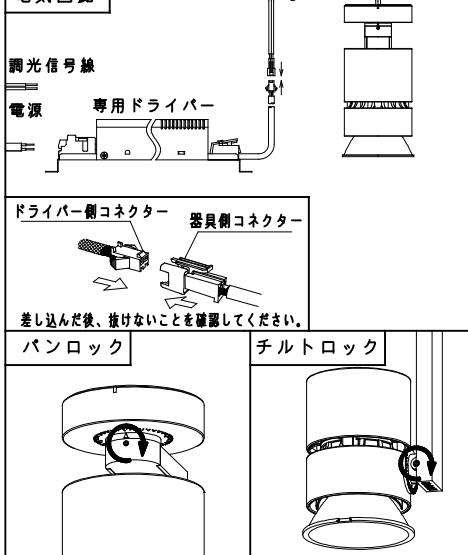


	品名	材質	簡要
1	コーン	アルミダイカスト	FW, FM: アクリル焼付塗装 FC: メッキ仕上
2	グレアカットリング	ゴム	
3	ボディ	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
4	リフレクター	アルミ	
5	LEDモジュール		
6	ソケット	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
7	アーム	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
8	チルトプロトラクター	樹脂	
9	マグネットケース	アルミダイカスト	
10	マグネット		アクリル焼付塗装
11	マグネットカバー	樹脂	滑り止めシート適用
12	セーフティクリップ	真ちゅう	
13	セーフティコネクタ	樹脂	
14	電源ドライバー		PWM制御方式調光対応

ご注意

- LEDにはバラツキがある為、同一品番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 器具の近くでラジオ・テレビ等を使用しないでください。雑音が入る場合があります。
- 器具の改造は危険ですので、絶対に行わないでください。
- 灯具を上向きに照射しないでください。発光部に埃が積もり、火災の原因になる恐れがあります。
- ドライバーは専用ドライバーを使用してください。
- 1次側電源は、直接専用ドライバーに接続してください。
- 専用ドライバー（1次側）には、送電端子はありません。
- 電気回路への接続の際には、JIS C8155規格に沿って容量計算してください。
- 調光器は適合調光器（PWM制御方式）：SX-CD1500PWM/V2（別売）を使用してください。
- 器具は、照射物より0.2m以上離してご使用ください。
- 周囲温度0℃～35℃の範囲でご使用ください。
- 不用意に器具に触れるとやけどの恐れがあるため、番付・調整者以外がアームズリーチ内に寄り付けない手段を設ける、もしくは手が触れられぬよう器具に囲いを設けてください。
- パン、チルトがロックした状態で灯具を動かさないでください。
- パン、チルトロック用のセットビスは緩まないでください。脱落し、紛失する恐れがあります。

電気回路



- 落下防止のため、器具側ケーブルに付属されているセーフティクリップをネジ（M4）で強固な場所に必ず取付けてください。
- 器具は必ず、凹凸の無い鉄板に取付けてください。
- 器具を取り付けた後は、十分な保持力が確保され、落下しないことを確認してください。
- ベースメーカーなど電子医療機器に器具を近づけないでください。
- 磁気記憶媒体（フロッピーディスク、磁気カードなど）に器具を近づけないでください。
- 各種電子機器、映像機器、通信機器（携帯電話、時計など）に器具を近づけないでください。
- 磁石が破壊する恐れがありますので、器具に衝撃をあたえないでください。
- 磁石が錆びないよう、高温多湿環境下で使用しないでください。